



発行：
東村山市民
テニスクラブ協議会
会長 川路 俊一



http://www.higashimurayamatennis.com/
http://www.higashimurayamatennis.com/i.html

第1回 運営委員会報告

2007/2/11 スポーツセンター

- 川路会長
 - ・課題をひとつひとつこなしていきたい。ご協力をお願いする。
 - ・コート上での名札着用を推進したい。各クラブで名札を作成してほしい。⇒事務局でサンプルを作成、次回運営委員会で検討。
 - ・早朝恩多コートについては、ソフトとの話し合いが必要だと思う。⇒まずは実態を把握し、引き続き協議していく。
- 小武海副会長
 - ・皆様の協力を得て邁進したい。宜しくお願いします。
- 技術部
 - ・1/8 (月) 中級スクールを実施。
 - ・1/28 (日) 七中にて技術部練習会を開催。
 - ・2/25 (日) 七中にて技術部練習会を開催予定。
- 会計部
 - ・1月度次決算報告。
- コート取り実行委員会
 - ・4月の市民大会期間中は恩多コートを申込対象とした。⇒柳泉園コートも申し込むことに決定。事務局で対応、ボランティアを募り、3/2 (金) に申込。
 - ・5月の太田杯開催予定日は申込をしない。
- 広報部
 - ・ガットの郵送経費節減のための申込募集を始めたい。⇒承認。
- 事務局
 - ・本井教室は5/3 (木)、4 (金)、国立グリーンヒルインドアコートで開催予定。
 - ・久米川コートの整備について、平日に対応できる人の募集を開始する。

・ナイター会員を募集します。
4月～11月の毎週水曜日19時～21時、恩多コート。
各クラブの会長に申し込んで下さい。
会費¥5,000は、3月末までに本部会計に振り込んで下さい。

■美住クラブ
・3/21 (水) 13時～17時、練習会&イベント開催。
於：西武ドームコート (4面)

第44回春季市民テニス大会日程

4/1(日)	会場は 久米川 コート	男子ダブルスB	参加申込は、3/4(日)、 11(日)の10時～12時、ス ポーツセンタースポーツ クラブ室。
4/8(日)		女子ダブルスB	
4/15(日)		男子ダブルスA/男子壮年ダブルス	
4/22(日)		女子ダブルスA	
4/29(日)	混合ダブルス		
4/30(月)、5/3(木)、4(金)		予備日	

＜ガットの郵送経費節減のためのお願い＞

総会でもご案内した通り、運営委員会では経費を少しでも節約する為に、ガットの郵送数を減らしたいと考えています。ご存知のようにガットは昨年からはホームページ上でも閲覧できるようになっています。経費節約の主旨にご賛同いただける方は**広報部松原純夫までメール (smats@d2.dion.ne.jp) でご連絡をお願いします。第一次募集は3月20日まで、とさせていただきます。多数の皆様のご理解、ご協力をお願いします。**

次ページより総会特集!



3月のコート

東村山高校コート

	3(土)	4(日)
9-13	諏訪	萩山
13-17	青葉	栄

東村山西高校コート

	3(土)	4(日)
9-13	栄	青葉
13-17	萩山	美住

★中級スクール開催

3/21 (水) 10:00～12:00 久米川コート
基本練習：基本ボレー「足元&ロブも怖くない」

★美住クラブ練習会

3/21 (水) 13:00～17:00 西武ドームコート

朝昼コート一覧 (土/日/祝日)

	3(土)	4(日)	10(土)	11(日)	17(土)	18(日)	21(水)	24(土)	25(日)	31(土)
7-9	A.B.C	A.D.E	A.B.C	A.C	A.B.C	A.B	A.B.C	A.B.C	A.B.C	A.B.C
8-9		1.2.3.5		1.2.3.5		1.2.3.5	1.2.3.5		1.2.3.5	
9-11	1.2.5	1.2.5	1.2.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3	1.2.5	1.2.5	2.3.5	1.2.3.5
11-13	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2	1.2.3.5	1.2.5	1.2.3.5	2.3.5	1.2.3.5
13-15	1.2.5	2.3.5	1.2.3.5	2.3	1.2.3.5	1.2.5	2.3	1.2.3.5	2.3.5	1.2.3.5
15-17	1.2.3.5	2.3	1.2.3.5	2.3	1.2.5	1.2	2.3	1.2.3.5	2.3	1.2.3.5



×斜線・使用不可
数字・久米川コート
英字・恩多コート

東村山市民テニスクラブ協議会 平成18年度総会

開催日時：平成19年1月21日（日）午後3時30分～午後5時30分
開催場所：市民スポーツセンター大会議室
出席者：67名（運営委員含む）

- 開会宣言：阿部事務局長
- 開会挨拶：松井協議会会長

1) 総会の年度について

前年度の活動報告と新年度の活動計画が議論されるので、本来なら12月末開催が妥当だが、現実的ではないので、年初めの1月開催とし、今年は平成18年度総会となっている。

2) 市民テの1年を振り返っての活動報告について、十分に討議をしていただきたい。忌憚のないご意見をお願いしたい。

3) 昨年を振り返ると4点ポイントがあった。1点目は、クラブ再編成した新しい年だったこと。会員も新旧いろんな方が混ざってお互い協力し合え、お互いのクラブを盛り上げてきてくれた事に感謝したい。2点目、コート取り実行委員会というコート取りの専門委員会を作った。コート確保を有効に進めたいということでご協力いただいた。非常に大変だったが今後も会員の方をお願いしたい。3点目は、柳杯。年々参加者が増えて、昨年は過半数を超えた。インドアコートを利用する事で悪天候の中、スムーズな運営ができたと思う。市民テのイベントとして今後も発展させていかなければならないと思う。運営に当たった委員の熱意にも感謝したい。4点目、市営コートの使用料の五割アップ。値上げ情報が早く入手できたので、いろいろな手を打ってきた。民間コートを取るところを、柳泉園のような公共コートを確保するなど皆さんにも我慢していただいた。いろいろな面で少しでも節約してきた。値上げはあったが順調に活動できたと思う。新年度でもこのような考えを引き継いでいく。

4) 私も11年会長職をやってきた。世代交代が必要だと思っている。各クラブもいろいろと新しくなっている。また運営委員会メンバーも新旧交代がスムーズにできた。順調な交代ができていた時に会長交代も必要だと思っている。後ほど提案したいので、皆さんの意見もいただきたい。宜しくお願い致します。（拍手）

■議長選出：川路副会長

前半議長に栄クラブの愛甲氏、後半議長に諏訪クラブの小武海氏を選出。（拍手）

■平成18年度活動報告

1) 運営委員会報告、2) コート取り実行委員会報告、3) 技術部報告、4) 広報部報告、5) 会計決算報告、6) 会計監査報告、7) 質疑応答（◇質問：◆意見：○回答）

◇青葉ク藤岡氏：久米川コートの整備とは？

○松井会長：体育協会から整備委託がある予定。40万円の委託料は予算的にも助かるし、会員に良い状態で使って欲しいという気持ちもあるので請負うつもり。

○武谷副会長（テニス連盟理事長）：元々は市が体協に整備委託をしたもので、昨年は軟庭連が体協から請負った。運営委員会では体制を整えて今年は請負を希望しようという話になった。

◇青葉ク荒牧氏：具体的な整備内容は？ニガリは撒けるのか？

○武谷副会長：今年の委託、請負の会議で確認する必要がある。平日も整備委託があるかもしれない。

○松井会長：ニガリは近隣農家との関係で許可されない状況がある。整備自体には限界があるが、委託料はありがたいし、有志を募りたい。

◇萩山ク進藤氏：会計決算報告、収入の部と支出の部決算合計が違う。一致した上でその余りがコート代還付金になるべきでは？

○会計部：収入の部合計を6,671,805に、またコート代還付金を281,000に訂正。

◇萩山ク坂井氏：コートの確保率を知りたい。

○事務局：例えば、7月は79.6%、8月思多は29.8%（柳泉園含めると47.6%）、11月は82.7%。

平成18年度活動報告、賛成多数で承認。（拍手）

■平成19年度活動計画

1) 運営委員会案、2) 技術部案、3) 広報部案、4) 会計予算案、5) 質疑応答（◇質問：◆意見：○回答）

◇栄ク早野氏：コート代の還付金を収入に入れていいのか？18年度決算報告のコート代は還付金が戻った後の額か、戻る前の額か？

○会計部：還付金を収入の部に入れるのは過去の例に従った。決算報告のコート代の中に還付金は入っていない。

◆青葉ク岩切氏：以前は還付金が一月に一括で入ったので翌期の収入の部に入れていた。今は翌月に還付金に戻ってくる。

◆青葉ク荒牧氏：だとすると繰越金に含めればいいのか？

◆青葉ク小池氏：繰越金に入れるのは反対。不確定な金額を収入に入れるべきではない。また実際支払い金と戻り金は明確にしておくべき。

◆栄ク早野氏：コート代の中で内訳がわかればいい。

◆萩山ク古村氏：会計上、戻るかどうかわからないものを収入に入れるのはおかしい。

◆諏訪ク石原氏：雨が降らなければ還付金もないのだから収入に入れるべきではない。

◆美住ク斉藤氏：コート代の中に入れて、支払い金と戻り金を適用に明記すればいいのではないのか？会計が決めれば良いと思う。

○会計部：還付金はゼロとして運営委員会で進めたい。

◇美住ク斉藤氏：コート代値上がりは理解できるが、各クラブ運営費が減少したことは、各クラブの今期の活動に影響が出ることは止むを得ないと思っているのか？また、親睦会費41万円から10万円に大幅に減少しているが、事情を聴きたい。

○会計部：各クラブ運営費について、過去コート代値上げを予測して会費値上げをしたが、コート代の値上げがなく会費が余り気味だったので、その期のうちに会員に還元しようということでクラブ運営費に充当していた。従って変動費を1,000円から2,000円にしていた。昨年はコート代も値上がり、変動費を1,000円に戻す必要が出てきた。親睦費については、従来の柳杯代を開催費とコート代に分けた。また昨年度柳杯25万円+納会16万円=41万円だったのを今年度は別々にした。従って親睦会費が減ったというわけではない。

○松井会長：コート代値上げがあり、予算全体を見直した。民間コートではなく柳泉園のような公共コートを確保することや広報部の提案など。各クラブの活動費もこのような状況で縮小した。会員から預かる今年度予算は489万円ある、その分はその年度で消化していくべきという考えがある。

◇萩山ク河嶋氏：ナイター会員は20名とのことだが、昨年のナイター参加者、多い日と少ない日を確認したい。

○事務局：今データがないので、別途何らかの形で報告をしたい。

- ◆萩山ク河嶋氏：水曜ナイターは、平日という事もあり、限られた人しか参加できない。参加者は3面で20名程度である。5,000円の会費を徴収してはいるが、優遇されていると思う。参加人数が少ないなら、日中の混雑状況程度になるようにコート面数を調整してもいいのではないかな？
- 小武海議長：今後運営委員会で検討して下さい。
- ◇萩山ク坂井氏：運営委員会で、コート代値上げに伴う理想的な収支、と掲げられているが、コート代についての考えを確認したい。
- 事務局：基本的にはコート確保を優先させ、削減できるところは広報部の提案なども含めて検討していきたいと思っている。コート整備委託事業も請負えば、一昨年規模の活動までもっていけるのではと考えている。
- ◇萩山ク坂井氏：広報部の昨年の活動で、双方向性を検討したがうまくいかなかったとのことだが、今年度はどうするのか？
- 広報部：読者の投稿欄などを考えたが、ガット編集その他に追われそこまで手が回らなかった。今年度については余力があればやっていきたい。
- ◇青葉ク岩切氏：恩多コート早朝でソフトとの調整を自分と諏訪の石原さんでやっているが、コート取り実行委員会も順調とのことなので、引き継ぎをお願いしたい。
- コート取り実委：本来なら実行委員会で調整するものなのかもしれないが、担当者の負荷が大きいので厳しい。運営委員会で検討したい。
- ◆青葉ク岩切氏：ソフトも調整に協力してくれている。しっかりした係を設けてほしい。
- ◆栄ク早野氏：繰越金について、本来はあるべきではないと考える。会員に還元すべきもの。記念事業のために貯蓄するなど明確な目的があればいい。
- ◆栄ク愛甲氏：19年度支出の部では、前年度止むを得ず実行できなかった繰越金を実行予算で使用しようとするもので、繰越金として予算化していない。たまたま去年からの繰越金が発生したということ。
- ◆栄ク早野氏：繰越金を每期全員に還元するのが好ましいと考える。

平成19年度活動計画案、賛成多数で承認。(拍手)

- 平成19年度役員選出
平成19年度役員候補(案)について川路副会長より説明。
- ◇青葉ク稲橋氏：副会長は一人か？
- 松井会長：まずは一人体制でやっていく。
- ◇萩山ク河嶋氏：川路氏の会長就任の経緯は？
- 松井会長：世代交代が必要と考え、現体制の会長、副会長3人で相談した。私が川路氏を推薦し、武谷副会長の了承を得、運営委員会に諮った。

平成19年度役員候補(案)、賛成多数で承認。

- 新旧会長副会長の挨拶
川路新会長：市民テに入って20年。運営委員会に参加して15年。初代会長柳氏は「共に楽しむためには共に苦しもう」と言った。松井会長は「市民テはひとつだ」と言ってきている。市民テの精神だと思う。引き継いでいきたい。時代も変わり運営委員会で変革しないといけないこともある。久米川コート整備を実行したい。私のスローガンは「健康で明るい快適なテニス環境を作る」。ひとりひとりが協力しあって、市民テの財産をひとつでも多く作っていききたい。皆様の温かいご支援をお願いします。
- 小武海新副会長：皆さんと一緒に、皆さんのご意見を仰ぎながらこの一年やっていきたい。宜しくお願い致します。議長解任前に、松井会長、武谷副会長に長年活動いただいたお礼を拍手をもってしたい。(盛大な拍手)
- 武谷前副会長：30年やってきた。テニス連盟もあり、交代したいと思っていた。新しい執行部の人に感謝したい。是非「美しい」市民テをお願いしたい。
- 松井前会長：長い間、皆さんのお世話になりました。市民テを愛する気持ちはまったく変わりません。皆さんのおかげでここまでやってこられました。ありがとうございました。

■議長解任：川路会長

■閉会宣言：阿部事務局長

平成18年度東村山市民テニス協議会総会を閉会します。どうもありがとうございました。(拍手)

平成19年度役員

会 長	川路 俊一(萩山)	会 計 監 査	澤田 正男(青葉)
副 会 長	小武海 一喜(諏訪)	会 計 監 査	浜 敬子(青葉)
会 計 部 長	明 孝夫(諏訪)		
会計副部長	松井 ひとみ(諏訪)	技術副部長(前半スクール責任者)	小池 邦彦(青葉)
技術部長	谷古宇 勝美(栄)	技術副部長(後半スクール責任者)	田中 通隆(美住)
広報部長	松原 純夫(美住)	技術副部長(中級スクール責任者)	小松山 隆(萩山)
事務局長	阿部 昌史(青葉)	広報副部長	古村 浩三(萩山)
事務局次長	山田 智靖(栄)		
事務局員		萩山クラブ会長	松井 和則
(コート取り実行委員長)	石田 晴康(萩山)	青葉クラブ会長	小池 邦彦
事務局員	松村 庄一(諏訪)	栄クラブ会長	鈴木 裕一
事務局員	駒井 勇人(美住)	諏訪クラブ会長	若林 尚昭
		美住クラブ会長	井上 美子

平成18年度コート取り実行委員会報告

1. 18年度のコート確保数
久米川1272コマ(2311時間)、恩多393コマ(786時間)、柳泉園30コマ(57時間)。総確保時間は3154時間。
2. 7月21日～9月15日までの久米川コート改修工事期間中は恩多コートと8月には柳泉園コートを申し込んだが、全体の確保数は減少した。
3. 委員会としての活動は、ほぼ予定通りにできた。各クラブの担

- 当者の負担は大きかったと思う。感謝したい。
- 4. 専任化された組織として申込作業を行なうことで、ミスが低減できた。また情報ルートがシンプルになったため、伝達のミスや遅れ、混乱がなくなった。
- 5. 以上のように、一年間で軌道に乗せられたと思う。すでに今年度も同様の体制で活動を開始している。

平成18年度運営委員会活動報告

1. 運営委員会の開催

毎月第2日曜日の9時30分～11時30分を原則として平成18年2月から平成19年1月まで合計13回運営委員会を開催しました。

2. 主な討議事項

1) コートの確保

抽選予約システムによるコート確保向上及び手続きの簡易化をするために「コート取り実行委員会」(各クラブ、管理担当1名、申込担当3名)を設置しました。市営コートは延べ3354時間確保(前年比13.3%減)、7月下旬～9月中旬に久米川コートのコート掘起しがあり、コート確保率が低下しましたが、市営コート以外の柳泉園を60時間確保し、市営コートの確保率を2.5%改善しました。久米川コートは日曜日午後のコート確保が厳しくなっています。運動公園コートでは、早朝はソフトテニスとの調整の結果、ほぼ3面確保できました。ナイターも毎週ほぼ3面確保できました。民間コート(西武ドーム及び国立グリーンヒル)は年始に44時間確保しました。

2) 久米川コートの更なる整備

市から委託される久米川コートの整備に参加すべく、サポート体制含め推進中。

3) 繰越金額の適正化と有効活用等の検討

10月からの市営コート代値上げにも関わらず、会費の値上げをしないための施策を議論した。平成19年度以降の会費据え置きを検討を推進中。

4) 「未来像を考える会」からの提言への対応

情報提供という点で、一昨年度、市民テホームページを有志により運営を開始し、昨年度、広報部へ移管しました。

<http://www.higashimurayamatennis.com/>

<http://www.higashimurayamatennis.com/i.html> (携帯電話用)

3. 学校開放への取り組み

- ・3月15日(水) 東村山西高の学校開放事業運営委員会に出席。
 - ・3月17日(金) 東村山高の学校開放事業運営委員会に出席。
 - ・4月27日(木) 東村山高の学校開放抽選に出席。
- 両校ともに、生徒の試験期間等学校側指定の日(村高17日間)、(村西高12日間)に開放を受けました。
- ・東村山七中のスポーツ開放を利用しました。

4. 主な行事

- ・5月3日(水)/4日(木) 本井教室：国立グリーンヒルインドアコート
- ・7月17日(月) 柳杯：西武ドームコート
- ・8月26日(土) 草取り：七中
- ・11月4日(土) 新入会員オリエンテーション：スポーツセンター大会議室。41名入会。
- ・12月16日(土) 市民テ忘年会：東村山市民センター別館(幹事は青葉クラブ)

平成18年度技術部活動報告

1. 初心・初級・ジュニアスクール(毎日曜9:00-12:00、久米川コート)

1) 標記対象者について、Ⅰ期(1月-3月)、Ⅱ期(6月-7月)、Ⅲ期(11月-12月)に分けてレッスンを実施した。実施回数は以下の通りである。

前半(9:00-10:30)：Ⅰ期9/12回、Ⅱ期6/14回、Ⅲ期7/8回

後半(10:30-12:00)：Ⅰ期9/12回、Ⅱ期5/13回、Ⅲ期7/8回

前半合計22/34回、実施率65%後半合計21/34回、実施率62%
(注1. 初心者、ジュニアは前半にてレッスンをした。)

(注2. Ⅱ期は久米川コート掘起しのため、計5回中止となった。)

2) 例年通り受講者を事前に募集した。また、受講登録者数は下記の通りであった。合計87名(うち新規登録者24名)前半26名(うち新規登録者12名)後半38名(うち新規登録者6名)ジュニア23名(うち新規登録者6名)

3) レッソンは予め準備したカリキュラムに従い技術部員33名が分担し、指導を行った。

2. 中級スクール(祝日、10:00-12:00、久米川コート)

1) 1月から12月の祝日を利用して、スクール生(初心、初級、ジュニア)以外を対象に中級者レッスンを行った。

2) 年間のカリキュラムは事前にガット及び市民テニスクラブホームページに掲載した。

3) 6回を予定したが実施は5回となった。参加者90名(延べ)。理由：予定していた7月17日を柳杯開催のため、取り下げた。

3. その他

1) JSS森川コーチによる指導者レッスンを2回(3月18日、9月30日)受けた。

2) 技術部員の合宿を長野県佐久で4月8日、9日に実施。

3) 技術部練習会を七中において7回開催。

4) 「コートの子2006年度版」を購入し、久米川コートに常備した。

5) 技術部会を3回(納会反省会含む)開催した。

平成18年度広報部活動報告

1. 活動方針と活動結果

1) ガットの毎月1日発行を厳守する。

毎月の発行を達成した。

2) 発行は広報部員が公平に分担して行う。

5名の広報部員がそれぞれ2号分担当した。2月号、3月号に関しては部長が担当した。

3) ガットは一方的に発信するのみではなく、会員が参加できるような双方向性を心がける。

いくつか企画を考えたが、紙面の都合等で実現には至らなかった。

4) ホームページには、コート確保状況、イベント情報等の連絡事項をリアルタイムに掲載する。また、会員に役立つ情報、魅力的な情報を掲載し、アクセス頻度が上がるよう工夫する。

・コート情報の更新を毎月行なった。

・トップページを使い、様々な情報、緊急の連絡事項などを掲載した。

・「ガット」ページを新設し、ネットでの閲覧を可能にした。

・携帯用ページのトップに目次を作り、閲覧しやすくした。

・一部の誤った情報を修正した。

・レイアウトを変更するなど、見やすくなるように工夫した。

5) その他の活動

・会員名簿の編集。

・柳杯の記録用写真撮影。

2. 18年度広報部員

古村(萩山)、栗坂(萩山)、鬼形(青葉)、佐伯(栄)、井上(諏訪)、土方(美住)。

ガットの編集に際し、各部員は様々なアイデアを出し、紙面の充実に貢献した。

平成18年度会計決算報告(平成18年1月1日～12月31日)

[収入の部]

単位=円

科目	予算	決算	摘要
前期繰越	1,381,000	1,381,000	
年会費	4,888,000	4,888,000	平成18年度会員数=347名
ナイター会費	120,000	118,000	
雑収入	5,000	3,805	銀行利子他
コート代還付	100,000	281,000	
合計	6,494,000	6,671,805	

[支出の部]

単位=円

科目	予算	決算	摘要
コート代	1,800,000	1,748,010	市営コート、民間コート
ボール代	700,000	519,100	
団体加盟費	40,000	40,000	東村山硬式テニス連盟
保険料	416,000	416,000	
技術向上費	250,000	265,231	本井教室コーチ謝礼他
技術部費	150,000	116,795	スクール運営費、森川教室、合宿コート代、会議費他。
親睦費	410,000	318,012	柳杯運営費、忘年会補助金
事務局費	170,000	73,992	事務諸経費、新システム対応費
コート取通信費	290,000	279,650	20名通信費、会議費
広報費	500,000	564,949	ガット印刷、郵送費、会員名簿、ホームページ運営費他
クラブ運営費	1080,000	1080,000	別紙参照
事業積立金	100,000	100,000	40周年記念事業費
小計	5,906,000	5,521,739	
予備費	588,000	0	
次期繰越金	0	1,150,066	
合計	6,494,000	6,671,805	

[事業積立金特別会計(40周年)]

繰越金	336,724
積立金	100,000
利息	34
合計	436,758

平成18年度会計監査報告

平成18年度会計決算報告に対し会計監査の結果、収支帳簿等に相違ないことを認めます。

平成19年1月21日

会計監査 澤田 正典

伊藤 薫美



平成19年度会計予算(平成19年1月1日～12月31日)

[収入の部]

単位=円

科目	予算	摘要
前期繰越	1,150,066	
年会費	4,890,000	平成19年度会員数=345名
ナイター会費	120,000	5,000*20名 +ピジター20,000
本井教室参加費	160,000	2,000*80名単位(運営委員会採択)
雑収入	5,000	
合計	6,325,066	

[支出の部]

単位=円

科目	予算	摘要
コート代	2,400,000	4384時間/面、柳杯・本井教室コート代含む
ボール代	600,000	過去平均値
技術部費	150,000	スクール運営費、会議費、技術向上費
事務局費	90,000	事務諸経費、会議費
コート取事務通信費	280,000	通信費20名、事務諸経費
広報費	580,000	ガット、ホームページ運営費、会員名簿
柳杯開催費	100,000	事務諸経費
本井教室開催費	205,000	コーチ謝礼、(5/3~4、午後)
親睦費	1000,000	懇親会等
クラブ運営費	793,000	変動費及び固定費(別表参照)
保険料	408,200	314名分(休部会員除く)
団体加盟費	40,000	前年同額
事業積立金	100,000	40周年記念事業費
小計	5,846,200	
予備費	478,866	
合計	6,325,066	

[各クラブ運営費]

単位=円

クラブ	会員数	一般家族	変動費	固定費	運営費
萩山	72	60	60,000	100,000	160,000
青葉	60	52	52,000	100,000	152,000
栄	70	58	58,000	100,000	158,000
諏訪	78	64	64,000	100,000	164,000
美住	65	59	59,000	100,000	159,000
合計	345	293	293,000	500,000	793,000

平成19年度運営委員会活動計画

1. 運営委員会の開催
市民テの円滑な運営を目的とし、毎月第2日曜日に運営委員会を開催します。
2. コートの確保
コート取り実行委員会を中心にコート確保に努め、「還付」・「振替」を推進します。また、大会予備日の開放方法については連盟と調整していきます。
 - 1) 市営コート
 - *久米川コート1月～12月の土・日・祝・祭日の昼間
 - *恩多コート1月～12月の土・日・祝・祭日の早朝(7:00-9:00)
 - 4月～11月の水曜日ナイター(19:00-21:00)
 - 2) 外部コート
春・秋の大会期間中、及び年末年始などで市営コート(昼間)が使えないときに代替コート(柳泉園等)を、久米川コートの混雑緩和のため東村山高校・東村山西高校のコートを確保します。
3. 本井教室を開催します。
4. 柳杯ミックスダブルス団体戦を開催します。
5. ナイター会員の募集
3月1日～3月31日の1ヶ月間、ナイター会員を募集します。
6. テニス保険の加入
平成19年度も例年通りテニス保険に加入しました。
期間平成19年1月1日～12月31日
休部会員を除く正会員314名(あいおい損害保険)
7. 新入会員募集
10月1日～10月31日の1ヶ月間、平成20年度の新入会員を募集します。
8. 検討課題の取組
 - 1) コート確保の向上
 - 2) 久米川コートの更なる整備と改善
 - 3) コート代アップに伴う、理想的な収支
 - 4) 「未来像を考える会」からの提言への対応
 - 5) その他

平成19年度技術部活動計画

1. 初心・初級・ジュニアスクール(毎日曜8:30-11:40、久米川コート)
 - (1) 標記対象者について、Ⅰ期(1月-3月)、Ⅱ期(6月-8月)、Ⅲ期(11月-12月)の各期間でスクールを開催する。
レッスンは下記の時間帯、およびクラス分けで実施する。
 - ・前半(8:30-10:00) 初心者、ジュニア
 - ・後半(10:10-11:40) 初級者
 本スクールは新入の初心者が受講しやすくする為に、ある程度試合が出来ると判断した場合、または大会等での上位入賞者には卒業を依頼することがある。
 - (2) 例年通り受講者を事前に募集した。受講登録者数は下記の通りであった。
 - 合計66名(うち新規登録者19名)
 - 前半12名(うち新規登録者9名)
 - 後半34名(うち新規登録者4名)
 - ジュニア20名(うち新規登録者6名)
2. 中級スクール(祝日、10:00-12:00、久米川コート)
 - (1) 1月から12月の祝日を利用してスクール生(初心、初級、ジュニア)以外を対象に中級者レッスンを開催する。
 - (2) 年間(5回を予定)のカリキュラムは事前にガット及び市民テニスクラブホームページに掲載する。
 3. 役割分担:技術部の役割分担を以下の通りとする。

部長	谷古宇 勝美(栄クラブ)
副部長(前半スクール責任者)	小池 邦彦(青葉クラブ)
副部長(後半スクール責任者)	田中 通隆(美住クラブ)
副部長(中級スクール責任者)	小椋 山 隆(萩山クラブ)
 4. その他
 - (1) 技術部員の技術向上及びスクール指導技術向上のため、外部指導者によるレッスンを受け、技術部練習会を開催する。
 - (2) 技術向上と親睦交流のため、他クラブと親善試合を行う。
 - (3) 「コートの友2007年度版」を購入し久米川コートに常備する。
 - (4) 技術部会を開催する(4-5回/年。納会、反省会含む)。

平成19年度広報部活動計画

1. 活動方針
 - ・ガットは毎月1日発行を厳守する
 - ・ガットの発行は広報部員が公平に分担して行う。(5名がそれぞれ2号分担当)
 - ・ホームページには、コート確保状況、イベント情報等の連絡事項をその都度掲載する。また、会員に役立つ情報、魅力的な情報を充実させ、アクセス頻度が上がるよう工夫する。
 - ・ガットをホームページに載せることにより、郵送での配布数減少を目指すし、経費削減を図る。
 - ・市民テの長年の活動をどのような形で記録として残していくのか、その方法について検討を始める。
2. 広報部員

部長	松原 純夫(美住クラブ)
副部長	古村 浩三(萩山クラブ)
部員	栗坂 秀夫(萩山クラブ)
	阿部 恵子(青葉クラブ)
	桑原 まさ子(栄クラブ)
	井上 典子(諏訪クラブ)
	岩井 明美(美住クラブ)

編集後記

総会では、たくさんの真剣な議論が交わされ、皆さんの市民テに対する熱い気持ちを感じました。私自身も「市民テを愛する」なんて言葉がスッと出てくるようになってたりして・・・な、なんなんでしょうか(^_^)・・・ 美住クラブ 松原純夫